

## 2021年5月期 決算短信(日本基準)(連結)

2021年7月14日

上場会社名 株式会社大光

上場取引所 東

コード番号 3160 URL <http://www.oomitsu.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 金森 武

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長兼総務部長 (氏名) 秋山 大介

TEL 0584-89-7777

定時株主総会開催予定日 2021年8月18日

配当支払開始予定日

2021年8月19日

有価証券報告書提出予定日 2021年8月18日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2021年5月期の連結業績(2020年6月1日～2021年5月31日)

## (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年5月期	54,133	10.8	239	40.3	395	16.5	441	
2020年5月期	60,659	3.6	400	38.3	473	32.8	218	47.4

(注) 包括利益 2021年5月期 298百万円 ( %) 2020年5月期 179百万円 ( 45.9%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年5月期	33.33		9.7	2.4	0.4
2020年5月期	16.51		4.6	2.7	0.7

(参考) 持分法投資損益 2021年5月期 百万円 2020年5月期 百万円

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年5月期	16,185	4,348	26.9	328.19
2020年5月期	16,565	4,766	28.8	359.75

(参考) 自己資本 2021年5月期 4,348百万円 2020年5月期 4,766百万円

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年5月期	891	694	328	288
2020年5月期	1,105	494	571	419

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年5月期		4.50		4.50	9.00	119	54.5	2.5
2021年5月期		4.50		4.50	9.00	119		2.6
2022年5月期(予想)		4.50		4.50	9.00		48.7	

## 3. 2022年5月期の連結業績予想(2021年6月1日～2022年5月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	27,300		9		16		30		2.26
通期	57,100		400		445		245		18.49

(注) 2022年5月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用するため、上記の連結業績予想は当該会計基準等を適用した後の金額となっており、対前期及び対前年同四半期増減率は記載しておりません。

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年5月期	13,450,800 株	2020年5月期	13,450,800 株
期末自己株式数	2021年5月期	200,012 株	2020年5月期	200,012 株
期中平均株式数	2021年5月期	13,250,788 株	2020年5月期	13,250,788 株

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	2
(4) 今後の見通し .....	3
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 連結貸借対照表 .....	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	6
連結損益計算書 .....	6
連結包括利益計算書 .....	7
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(追加情報) .....	11
(セグメント情報等) .....	12
(1株当たり情報) .....	15
(重要な後発事象) .....	15
4. その他 .....	15
(1) 役員の変動 .....	15

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化していることから、厳しい状況で推移しました。2020年4月に発出された緊急事態宣言の解除後は、政府による需要喚起策の効果などから個人消費に持ち直しの兆しが見られたものの、11月以降は感染拡大が再燃し緊急事態宣言が再発出されるなど、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループの主要販売先である外食産業におきましては、新型コロナウイルス感染拡大による外出自粛や飲食店への休業要請及び営業時間短縮要請の影響などから、厳しい経営環境が続いております。

このような環境のなか、当社グループはお客様や従業員の安全を第一に感染症対策を徹底するとともに、食を支える企業として安心・安全な商品提供に努めております。業務用食品等の卸売事業である「外商事業」においては、既存得意先との深耕を図るとともに、多様な外食産業に対する新規開拓に注力してまいりました。また、業務用食品等の小売事業である「アマカ事業」においては、新規店舗を開業するとともに、品揃えの充実化や営業活動の強化など、来店客数の増加に向けた取り組みを進めてまいりました。

両事業におきましては、収益性の向上を図るため、当社プライベートブランド商品である「O!Marche (オーマルシェ)」、「プロの選択」や業務用食品販売事業者の共同オリジナルブランド商品である「JFDA (ジェフダ)」の販売強化と全社的な業務の効率化を継続して行ってまいりました。

さらに、水産品の卸売事業である「水産品事業」では、連結子会社である株式会社マリンデリカにおいて、既存得意先との深耕を図るとともに、新規得意先の開拓など販路の拡大に取り組んでまいりました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響から、当社グループの主要販売先である外食産業の経営環境が悪化しており、当社グループにおきましても外商事業を中心に厳しい事業運営を強いられました。

この結果、当連結会計年度の売上高は541億33百万円（前期比10.8%減）、営業利益は2億39百万円（前期比40.3%減）、経常利益は3億95百万円（前期比16.5%減）、親会社株主に帰属する当期純損失は投資有価証券評価損4億31百万円及び減損損失1億70百万円を特別損失に計上したことなどから4億41百万円（前期は親会社株主に帰属する当期純利益2億18百万円）となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の資産残高につきましては、前連結会計年度末と比較して受取手形及び売掛金が5億48百万円増加したこと等により、流動資産は全体で1億17百万円増加しました。一方固定資産は、投資有価証券が3億1百万円減少したこと等により、全体で4億97百万円減少しました。その結果、資産総額は前連結会計年度末と比較して3億79百万円減少し、161億85百万円となりました。

負債残高につきましては、前連結会計年度末と比較して短期借入金が2億65百万円減少したこと等により、流動負債が全体で1億67百万円減少しました。一方固定負債は、長期借入金が1億84百万円増加したこと等により、全体で2億6百万円増加しました。その結果、負債総額は前連結会計年度末と比較して38百万円増加し、118億36百万円となりました。

純資産残高につきましては、前連結会計年度末と比較して4億18百万円減少し、43億48百万円となりました。

### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における営業活動によるキャッシュ・フローは8億91百万円の収入（前連結会計年度は11億5百万円の収入）となりました。これは、売上債権の増加5億48百万円があったものの、たな卸資産の減少5億32百万円、減価償却費4億80百万円、投資有価証券評価損4億31百万円の計上等によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは6億94百万円の支出（前連結会計年度は4億94百万円の支出）となりました。これは、有形固定資産の取得による支出6億22百万円等によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは3億28百万円の支出（前連結会計年度は5億71百万円の支出）となりました。これは、長期借入れによる収入11億円があったものの、長期借入金の返済による支出9億83百万円、短期借入金の純減額2億65百万円等によるものであります。

これらに換算差額を合わせた結果、現金及び現金同等物は前連結会計年度末に比べ1億31百万円減少し、2億88百万円となりました。

(4) 今後の見通し

外食産業を取り巻く環境につきましては、新型コロナウイルスワクチン接種が進むことにより、徐々に回復していくことを想定しております。

当社グループの次期の見通しにつきましては、2021年6月から12月までは足元と同様の影響を受けるものの、ワクチン接種が年内までに相当量まで進むことにより、2022年1月から期末（5月）にかけて従来の売上水準に近いところまで回復していくことを想定しております。

こうした想定のもと、2022年5月期の通期の連結業績予想につきましては、売上高571億円、営業利益4億円、経常利益4億45百万円、親会社株主に帰属する当期純利益2億45百万円を予想しております。また、第2四半期累計期間につきましては、売上高273億円、営業損失9百万円、経常利益16百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失30百万円を予想しております。

なお、上記に記載した将来に関する記述につきましては、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて判断したものでありますが、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主の皆様への利益還元を経営の最重要課題のひとつとして認識しており、中長期的な企業価値の増大が利益還元の最大の源泉になるものと考えております。配当政策につきましては、将来の企業価値の増大に向けた事業展開のための内部留保を図るとともに、当社の財務状況、収益動向及び配当性向等を総合的に判断しつつ、継続的かつ安定的な配当を年2回行うことを基本的な方針としております。

当期の配当につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大や投資有価証券評価損及び減損損失を特別損失に計上したことなどの影響もあり、2021年5月期において親会社株主に帰属する当期純損失を計上しましたが、継続的かつ安定的な配当という基本方針の下、今後の経営環境等を総合的に勘案した結果、1株当たりの期末配当金は4円50銭を予定しております。これにより、当期の年間配当金は前期と同様の1株当たり9円となる予定です。

次期の配当につきましては、新型コロナウイルス感染症の終息が見通せないなど先行きが不透明であるものの、上記基本方針の下、1株当たりの中間配当金を4円50銭、期末配当金を4円50銭とし年間9円を予定しております。

内部留保資金の使途につきましては、新店舗への投資、人材確保・育成投資、及び物流・販売拠点整備投資並びに経営管理機構の強化等中長期的な企業価値の増大を図るための先行投資に投入していくこととしております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であり、海外からの資金調達必要性が乏しいため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年5月31日)	当連結会計年度 (2021年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	419,140	288,042
受取手形及び売掛金	3,253,651	3,801,809
有価証券	97,835	180,798
商品	4,025,036	3,484,514
貯蔵品	43,111	50,856
その他	1,169,220	1,321,493
貸倒引当金	△1,980	△4,322
流動資産合計	9,006,015	9,123,191
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,171,663	3,286,858
機械及び装置（純額）	343,970	332,096
土地	307,567	308,558
リース資産（純額）	368,769	311,052
その他（純額）	240,953	244,140
有形固定資産合計	4,432,923	4,482,705
無形固定資産		
無形固定資産	39,187	31,754
投資その他の資産		
投資有価証券	1,197,329	895,465
繰延税金資産	484,486	234,551
その他	1,876,860	1,884,603
貸倒引当金	△471,641	△467,041
投資その他の資産合計	3,087,035	2,547,578
固定資産合計	7,559,146	7,062,038
資産合計	16,565,162	16,185,229

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年5月31日)	当連結会計年度 (2021年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,284,668	4,622,699
短期借入金	1,859,000	1,593,500
1年内返済予定の長期借入金	916,435	848,834
リース債務	59,926	56,371
未払法人税等	110,204	26,680
賞与引当金	217,455	223,449
ポイント引当金	21,513	21,892
その他	961,084	868,877
流動負債合計	8,430,287	8,262,304
固定負債		
長期借入金	1,732,492	1,916,914
リース債務	366,270	309,899
役員退職慰労引当金	261,517	285,751
退職給付に係る負債	392,895	420,780
資産除去債務	455,420	481,506
その他	159,350	159,350
固定負債合計	3,367,947	3,574,203
負債合計	11,798,234	11,836,508
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,076,372	1,076,372
資本剰余金	980,171	980,171
利益剰余金	2,830,184	2,269,290
自己株式	△33,904	△33,904
株主資本合計	4,852,824	4,291,930
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△91,358	53,653
繰延ヘッジ損益	423	△823
退職給付に係る調整累計額	5,038	3,961
その他の包括利益累計額合計	△85,897	56,791
純資産合計	4,766,927	4,348,721
負債純資産合計	16,565,162	16,185,229

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年6月1日 至 2020年5月31日)	当連結会計年度 (自 2020年6月1日 至 2021年5月31日)
売上高	60,659,503	54,133,480
売上原価	48,974,875	43,178,375
売上総利益	11,684,628	10,955,104
販売費及び一般管理費	11,283,983	10,715,736
営業利益	400,644	239,367
営業外収益		
受取利息	15,163	12,448
受取配当金	4,012	7,031
受取賃貸料	90,314	88,300
受取手数料	21,643	20,676
助成金収入	—	117,612
その他	54,139	16,538
営業外収益合計	185,273	262,608
営業外費用		
支払利息	24,220	21,403
賃貸費用	71,750	69,159
固定資産除売却損	1,563	7,126
その他	14,680	8,604
営業外費用合計	112,215	106,294
経常利益	473,702	395,681
特別利益		
投資有価証券売却益	—	5,277
特別利益合計	—	5,277
特別損失		
減損損失	67,160	170,528
投資有価証券売却損	—	3,696
投資有価証券評価損	4,939	431,442
会員権評価損	—	6,940
特別損失合計	72,100	612,607
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	401,601	△211,647
法人税、住民税及び事業税	193,946	40,866
法人税等調整額	△11,136	189,122
法人税等合計	182,809	229,988
当期純利益又は当期純損失(△)	218,792	△441,636
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	218,792	△441,636



(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年6月1日 至 2020年5月31日)	当連結会計年度 (自 2020年6月1日 至 2021年5月31日)
当期純利益又は当期純損失 (△)	218,792	△441,636
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△45,706	145,012
繰延ヘッジ損益	△404	△1,247
退職給付に係る調整額	6,740	△1,076
その他の包括利益合計	△39,369	142,688
包括利益	179,422	△298,948
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	179,422	△298,948
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年6月1日 至 2020年5月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,076,372	980,171	2,724,024	△33,904	4,746,663
当期変動額					
剰余金の配当			△112,631		△112,631
親会社株主に帰属する当期純利益			218,792		218,792
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	106,160	—	106,160
当期末残高	1,076,372	980,171	2,830,184	△33,904	4,852,824

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	△45,652	827	△1,702	△46,527	4,700,136
当期変動額					
剰余金の配当					△112,631
親会社株主に帰属する当期純利益					218,792
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△45,706	△404	6,740	△39,369	△39,369
当期変動額合計	△45,706	△404	6,740	△39,369	66,790
当期末残高	△91,358	423	5,038	△85,897	4,766,927

当連結会計年度 (自 2020年6月1日 至 2021年5月31日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,076,372	980,171	2,830,184	△33,904	4,852,824
当期変動額					
剰余金の配当			△119,257		△119,257
親会社株主に帰属する当期純損失 (△)			△441,636		△441,636
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	—	△560,893	—	△560,893
当期末残高	1,076,372	980,171	2,269,290	△33,904	4,291,930

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	△91,358	423	5,038	△85,897	4,766,927
当期変動額					
剰余金の配当					△119,257
親会社株主に帰属する当期純損失 (△)					△441,636
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	145,012	△1,247	△1,076	142,688	142,688
当期変動額合計	145,012	△1,247	△1,076	142,688	△418,205
当期末残高	53,653	△823	3,961	56,791	4,348,721

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年6月1日 至 2020年5月31日)	当連結会計年度 (自 2020年6月1日 至 2021年5月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	401,601	△211,647
減価償却費	521,647	480,020
減損損失	67,160	170,528
投資有価証券評価損益(△は益)	4,939	431,442
会員権評価損	—	6,940
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2,185	△2,258
賞与引当金の増減額(△は減少)	8,047	5,994
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△267	379
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	23,610	24,233
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	27,033	26,349
受取利息及び受取配当金	△19,175	△19,479
助成金収入	—	△117,612
支払利息	24,220	21,403
固定資産除売却損益(△は益)	1,563	7,126
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△1,581
売上債権の増減額(△は増加)	2,139,427	△548,157
たな卸資産の増減額(△は増加)	254,296	532,777
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,014,113	338,031
未払消費税等の増減額(△は減少)	△6,085	△56,270
その他	△127,193	△178,579
小計	1,304,526	909,638
利息及び配当金の受取額	10,691	15,438
利息の支払額	△16,538	△14,321
助成金の受取額	—	97,827
法人税等の支払額	△192,841	△117,080
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,105,838	891,503
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△195,782	△622,344
無形固定資産の取得による支出	△20,604	△3,977
投資有価証券の取得による支出	△260,673	△309,795
投資有価証券の売却による収入	—	302,694
敷金及び保証金の差入による支出	△218	△72,000
その他	△17,405	10,600
投資活動によるキャッシュ・フロー	△494,684	△694,822
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△668,000	△265,500
長期借入れによる収入	1,500,000	1,100,000
長期借入金の返済による支出	△1,231,862	△983,179
配当金の支払額	△112,182	△119,416
リース債務の返済による支出	△59,689	△59,926
財務活動によるキャッシュ・フロー	△571,734	△328,022
現金及び現金同等物に係る換算差額	△112	243
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	39,306	△131,098
現金及び現金同等物の期首残高	379,833	419,140
現金及び現金同等物の期末残高	419,140	288,042

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

第3四半期連結会計期間の決算短信の(追加情報)(新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う会計上の見積り)に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、大手外食チェーン、ホテル、レストラン及び事業所給食等の多様な外食産業等に対して、直接販売を中心とした卸売業を行う「外商事業」、小規模外食業者及び一般消費者に対して、現金等で販売し商品をお客様自身に持ち帰っていただくキャッシュアンドキャリー形式による小売業を行う「アマカ事業」及び、食品メーカー及び食品卸売会社などに対して、貝類を中心とした水産品の卸売業を行う「水産品事業」の各事業セグメントにおいて、業務用食品等を販売しております。

したがって、当社グループは「外商事業」、「アマカ事業」、及び「水産品事業」の3つを報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。報告セグメントの利益は、営業利益（のれん償却前）ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自 2019年6月1日 至 2020年5月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	連結財務諸表 計上額 (注) 3
	外商事業	アマカ事業	水産品事業	計			
売上高							
外部顧客への売上高	38,025,353	20,745,133	1,872,795	60,643,282	16,221	—	60,659,503
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,779	16,462	130,828	154,070	—	△154,070	—
計	38,032,132	20,761,595	2,003,624	60,797,352	16,221	△154,070	60,659,503
セグメント利益又は損 失 (△)	△509,514	1,834,951	12,947	1,338,384	4,941	△942,681	400,644
セグメント資産	5,426,900	6,367,534	1,481,975	13,276,410	68,956	3,219,795	16,565,162
その他の項目							
減価償却費	117,333	376,765	70	494,169	8,730	18,747	521,647
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	62,704	108,011	—	170,715	—	52,100	222,816

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業を含んでおります。

2. 調整額は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益又は損失 (△) の調整額△942,681千円は、本社経費等であります。
- (2) セグメント資産の調整額3,219,795千円は、本社資産等であります。
- (3) 減価償却費の調整額18,747千円は、本社減価償却費等であります。
- (4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額52,100千円は、本社設備投資額であります。

3. セグメント利益又は損失 (△) は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度 (自 2020年6月1日 至 2021年5月31日)

(単位: 千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	連結財務諸表 計上額 (注) 3
	外商事業	アミカ事業	水産品事業	計			
売上高							
外部顧客への売上高	31,749,695	20,565,315	1,802,814	54,117,824	15,655	—	54,133,480
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,635	16,098	137,799	156,533	—	△156,533	—
計	31,752,330	20,581,413	1,940,614	54,274,358	15,655	△156,533	54,133,480
セグメント利益又は損 失 (△)	△565,699	1,726,198	19,181	1,179,680	5,483	△945,795	239,367
セグメント資産	5,645,709	6,729,605	1,486,815	13,862,130	62,402	2,260,697	16,185,229
その他の項目							
減価償却費	102,826	352,029	868	455,723	7,702	16,594	480,020
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	10,759	673,363	3,778	687,900	—	4,010	691,911

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業を含んでおります。

2. 調整額は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益又は損失 (△) の調整額△945,795千円は、本社経費等であります。
- (2) セグメント資産の調整額2,260,697千円は、本社資産等であります。
- (3) 減価償却費の調整額16,594千円は、本社減価償却費等であります。
- (4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額4,010千円は、本社設備投資額であります。

3. セグメント利益又は損失 (△) は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

**【関連情報】**

前連結会計年度（自 2019年6月1日 至 2020年5月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

国内の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載しておりません。

(2) 有形固定資産

全ての事業拠点は国内にあります。したがって、地域に関する情報は記載しておりません。

3. 主要な顧客ごとの情報

単一の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の10%を超えないため記載しておりません。

当連結会計年度（自 2020年6月1日 至 2021年5月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

国内の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載しておりません。

(2) 有形固定資産

全ての事業拠点は国内にあります。したがって、地域に関する情報は記載しておりません。

3. 主要な顧客ごとの情報

単一の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の10%を超えないため記載しておりません。

**【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】**

前連結会計年度（自 2019年6月1日 至 2020年5月31日）

(単位：千円)

	外商事業	アミカ事業	水産品事業	調整額	合計
減損損失	21,037	46,123	—	—	67,160

当連結会計年度（自 2020年6月1日 至 2021年5月31日）

(単位：千円)

	外商事業	アミカ事業	水産品事業	調整額	合計
減損損失	65,391	105,137	—	—	170,528

**【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】**

前連結会計年度（自 2019年6月1日 至 2020年5月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2020年6月1日 至 2021年5月31日）

該当事項はありません。

**【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】**

前連結会計年度（自 2019年6月1日 至 2020年5月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2020年6月1日 至 2021年5月31日）

該当事項はありません。



(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年6月1日 至 2020年5月31日)	当連結会計年度 (自 2020年6月1日 至 2021年5月31日)
1株当たり純資産額	359円75銭	328円19銭
1株当たり当期純利益又は 1株当たり当期純損失(△)	16円51銭	△33円33銭

- (注) 1. 当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、1株当たり当期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。なお、前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2020年5月31日)	当連結会計年度 (2021年5月31日)
純資産の部の合計額(千円)	4,766,927	4,348,721
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	—	—
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	4,766,927	4,348,721
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	13,250,788	13,250,788

3. 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年6月1日 至 2020年5月31日)	当連結会計年度 (自 2020年6月1日 至 2021年5月31日)
1株当たり当期純利益又は 1株当たり当期純損失(△)		
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	218,792	△441,636
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	218,792	△441,636
期中平均株式数(株)	13,250,788	13,250,788

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

(1) 役員の変動

該当事項はありません。